



あなたの近くに、いつもの笑顔
三宝物産株式会社様

お客様訪問

No.31

熊本県上益城郡でダストコントロールマットの製造・販売をしている、三宝物産株式会社様。今回は部長の黒田様にお話を伺いました。

■三宝物産株式会社様の特徴を教えて下さい。

当社は創業当時、絨毯製造の会社として設立されました。時代のニーズに目を向け、その技術をレンタルマットに活かし現在に至っています。

最新鋭の機械と昔からの製法技術を上手く融合し、全国にいるお客様の要望に応えています。

■お客様に対して、どんな点に気を配っていらっしゃいますか?



■アメニティを導入した理由と、導入して良かった点を教えてください。

アメニティさんのリピートメンテナンスで月に1度汚れをリセットしていただけるので、日常清掃もやりやすいです。また、トイレ内の設備などを点検し、報告していただけるので安心です。

■最後に、担当(ショップ)に一言お願いします。

担当の左枝さんは笑顔も良く、頼もしい存在です。これからも、快適なトイレの維持にご協力ください!



お客様に気持ち良くトイレを利用していただけるよう、快適な空間づくりを心がけています。

■トイレに関して気をつけている点や、工夫している点を教えてください。

『トイレは会社の顔』と思っていますので、ニオイ対策はもちろんのこと、見た目の清潔感にも気を配っています。

☆私が担当しています!☆
SHOP アメニティ熊本 熊本県 左枝 賢志郎(さえだけんしろう)さん ANET License ID : 20-1205-0267
三宝物産様は、弊社がアメニティネットワークのFC店に加盟した当初から、お付き合いをさせていただいています。私が担当させていただいて、まだ日が浅いですが、毎月のリピートメンテナンス訪問時に笑顔でご対応していただきます。これからも三宝物産様のトイレの管理を、一生懸命担当させていただきます!

主婦ライター・水仙の水に流せない“廁”論

第1回 子連れトイレはアクシデント満載!

はじめまして! ライターの水仙美樹と申します。今回からスタートするこのコラムでは、生活に密着した主婦、ママ、そして女性としての視点からトイレ



を語っていきたいと思います。さて、親子でおでかけする際に気になるのが、トイレや授乳室の充実具合。ママにとって使いやすいトイレはありがた~い存在です。最近ではショッピングセンターが親子連れに優しいトイレ作りに力を入れていますよね。それでも、小さな子供とのトイレ利用は想像以上に大変!

トイレの個室で子供をベビーチェアに座らせるときが、ママのほっこり一息タイム。「これで

ゆっくり用が足せる~♪」と腰を下ろしたそのとき。「ガチャガチャガチャッ!」子供が手を伸ばしてカギを開けているではありませんか!必死で開くドアを押さえたこと�数知れず。こんな経験、きっと私だけじゃないはずです。「個室のカギは子供の手に届かない場所にも設置してもいい」とママの切実な願いです。

また、ある授乳ルームでの出来事。オムツ替えルームと併

設されていたその場所は、部屋全体にウンチのニオイが充満していました。授乳は赤ちゃんのごはんタイムであると同時に、ママが自分のおっぱいをあらわにするデリケートな場所。そこにウンチ臭って…。正直、泣きたくなってしまいます(T_T)

トイレ管理は実際に使ってみないとわからないこともたくさん。ぜひ積極的にママたちの意見にも耳を傾けてほしいな~と思います。

編集後記

「かわや版」編集担当の雉撃弾治です。本年も宜しくお願い申し上げます。「かわや版」はトイレの情報新聞として2004年6月に創刊し、9年目に突入しております。その間、トイレの楽しさや奥深さを少しでもお伝えしたいと思い邁進して参りました。今後も、更に楽しく、ためになるトイレの新聞としてご提供に努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。(雉撃弾治)

Information!

【トイレ診断士の廁堂本舗】

アメニティネットワーク本部に、民間初の公衆トイレを開設しました。詳しくは、今後の「かわや版」でご紹介させて頂きます。

建設途中の「トイレ診断士の廁堂本舗」▶



あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル **0120-57-1110**

トイレを楽しくする新聞
かわや版
KAWAYABAN

2013新年号
Vol.41

AMENITY NETWORK
http://www.amenity-network.net/
Amenity Network.

[発行所] 株式会社アメニティ
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町685
TEL:045-371-7676(代) FAX:045-371-7717
Copyright ©2013 AMENITY INC. All rights reserved.
本紙からの無断転載を固く禁じます。

特集 オストメイト対応トイレ

最近、駅や大型の商業施設、または公衆トイレなどで“オストメイト対応”的表示を見かけますが、オストメイト対応の器具や設備をご存知でしょうか。今回のかわや版では、オストメイト対応トイレについて解説致します。



オストメイトとは

オストメイトとは、病気などによって臓器に機能障害を負い、腹部に人工的にストーマ(排泄物を出すための口/人工肛門・人工膀胱とも呼ばれる)を装備した方を指します。そして、ストーマにストーマ装具(排泄物を溜めるためのパウチ)を装着して生活をしています。なお、オストメイトの方は排泄をコントロールできないため、ストーマ装具に溜まった排泄物を順次処理する必要があります。

現在、日本におけるオストメイトの方は18万人を超えると言われていますが、洋服を着ていると、外見ではほとんど気が付きません。



オストメイト対応トイレ

オストメイトの方は、ストーマ装具を交換したり、ストーマ装具に溜まった排泄物を捨てたり、ストーマ周りやストーマ装具を洗ったり等を、日常的に行っています。

もちろん、外出先でも行います。そして、それらを行う場所がオストメイト対応トイレとなり、以下の写真のような設備を使います。

今後の課題

2006年12月にバリアフリー新法が施行され、オストメイト対応設備の設置義務の対象施設が拡大しました。これにより、オストメイト対応トイレも徐々に増え、インターネット等で設備のあるトイレを検索できるサイトも充実してきました。それまでは、ストーマ周りの処理が必要であることから、思うように外出できない状況にあったといいます。

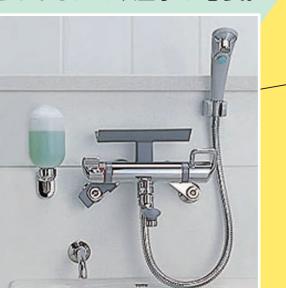
しかし、一般的にオストメイトの方の平均年齢は高く、ネットで情報を検索することに慣れていないことや、まだ、社会的にオストメイト関連設備の理解が深まっていない為か、設備の整備不足や破損などがあるようです。

一方で、外見からはオストメイトの方であることが分かり難いため、“健常者が多目的トイレを占領している”と嫌な目で見られる事もあるなど、健常者には分からぬ大変な苦労があるそうです。

先ずは、全国に推定18万人を超えるオストメイトの方がいらっしゃる事を認識し、社会全体で理解する事が大切だと思います。(文:雉撃弾治)

①サーモ水栓+シャワー

腹部やストーマ装具の洗浄に使用。腹部を直接洗浄することもあるため、温水が必要。



②汚物流し

ストーマ装具に溜まった汚物を流したり、ストーマ周りを洗浄した水を流す。



③洗浄スイッチ

汚物流しの水を流す(センサー式もある)。



④荷物かけ用フック

既存の洋式便器に、ストーマ装具を洗浄する水栓を設置した便器。上の専用設備と比較すると簡易的な設備となる。



<参考・出典>

◇日本オストミー協会HP
http://www.joanet.org/index.htm
◇TOTO株式会社 総合カタログ

文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に深く注目し、トイレに関する興味深い文献を紹介致します。



水洗便所は古事記の昔から

日本人の常識では、水洗便所(ウォーター・クローゼット)はヨーロッパで発達し、日本へは文明開化とともに伝わったとされている。しかし、水洗便所は大昔から日本にもあったといつたら、読者は驚かれるだろう。

そのヒントは「廁」という言葉の中に含まれている。室町時代の文安元年(1444年)に成った『下学集(かがくしゅう)』という辞書によると、廁は河の上に架けて不浄を流すもので、「河屋」のことであると説明されている。つまり水で流す水洗便所が「廁」の語源だというのである。

「廁」が初めて文献に登場するのは、現存最古の歴史説話『古事記』である。同書の神武天皇の条に次のような話がある。

「三島涅昨(みしまのみぞくい)の娘で、名を勢夜陀多良比売(せやだたらひめ)という、たいそう美しい乙女がいた。三輪山の大物主神(おおも

のぬしおかみ)がこの娘を見てみたいへん気に入って、その乙女が大便をする時、赤く塗った矢に姿を変えて、廁から流れ下って驚かせたので、乙女はあわてふためいた。それからその矢を持ってきて、寝床のそばに置くと、矢はたちまち端麗な男になり、やがて二人の間には女の子が生まれ、比売多良伊須氣余理比売(ひめたたらいすけよりひめ)と名づけた。のち伊須氣余理比売が神武天皇の皇后となつた。」

この話の廁の部分を原文にあたると、

『其美人為=大便=之時、化=丹塗矢=、自下其為=大便=之溝上流下』

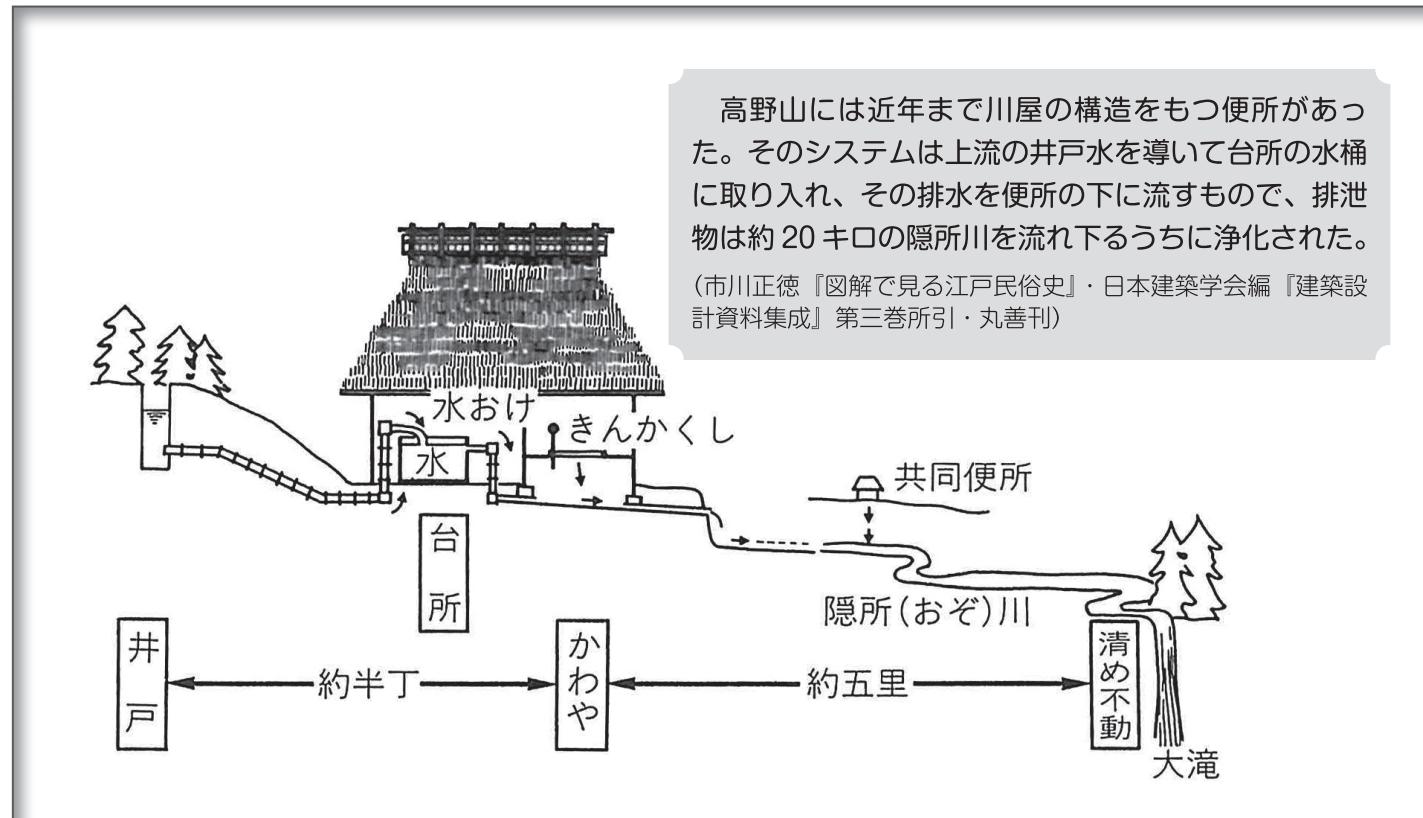
となっている。江戸時代の国学者の本居宣長が著した『古事記』の注釈書^{(*)1}によると、「為大便」は「加波止爾伊禮流(カワヤニイレル)」と訓じ、「為大便之溝流下」は「訶波夜能斯多(カワヤノシタ)」と読むといふ。^{(*)2}

そして、

“古廁(イニシエカワヤ)は、溝流(ミゾ)の上に造て、まりたる屎(クソ)は、やがて其水に流失(ナガレウス)る如く構(カマヘ)たる故に、河屋とは云なり”

と注釈している。つまり、水洗式の廁は『古事記』に記された伝説上の神武天皇の時代にまで、さかのぼるというのである。

考えてみると、日本人は今でも好んで「水に流す」ということわざを口にするが、とくに昔の人はすべて汚れを水に流し去ったものであつた。屎尿さえも例外ではなかつた。人口が少なかった古代においては、屎尿を川に流したからといって、別にさほどの害を与えることはなかつたのであろう。むしろ、日本のように水の豊富な風土では、水の自浄作用を利用した汚物処理、すなわち川屋=廁の水洗便所が、當時もっとも便利で安全な選択だったといえるのではないだろうか。



あなたは、知っていましたか?

廁の語源説



1 カハヤ(河屋)の義で、川の上に架け渡したところから
〔下学集・日本釈名・三余叢談・箋注和名抄・筆の御靈・嬉遊笑覽・言元梯・名言通・俗語考・和訓栞〕。

2 家の傍に設けるところから、
カハヤ(側屋)の義
〔和訓栞・大言海〕。

3 かわるがわる行くところから、
カハヤ(交屋)の義
〔万葉代匠記・万葉考〕



4 カハは糞の意
〔海録〕。

5 クサヤ(臭屋)の義
〔三樹考〕。

6 カワルキヤ(香悪屋)の義
〔日本釈名・和句解〕。
〔日本国語大辞典〕による

「廁」の字が使われた理由:昔は、母屋の側に便所を設けるのが一般的だったことから、「家を表す厂(がんだれ)の則(そば)」=「家のそば」で「廁」の字が使われるようになった。(アメニティ調べ)



[出典]
便所のはなし(2~3頁)
発行所:鹿島出版会
著者:谷直樹
発行:1986年12月25日(第1刷)

(*)1)『古事記伝』四十四巻、本居宣長著。寛政十年(1798年)成立。古事記の注釈書として定評がある。

(*)2)宮地正道の『南洋の言語と文学』によると、マレー半島のある地方では便所に行くことを「川へ行く」という。川屋=廁は、東南アジア地方における便所の方式と関係が深いことが指摘できる。